

今年度も引き続き、校長室から日頃の「雑感」をお届けいたします。昨年度は例年以上に数多くの生徒の皆さんが校長室に足を運んでくれ、大会報告や各種イベント案内など、様々なお話を聞かせてくれました。教育活動はもちろん、そうした生徒の皆さんとの談話等も交えながら綴ってまいりますので、ご笑覧いただけましたら幸いです。

One for all, All for one. No.120

R7. 1. 9 「新春ダンスフェスティバル」



イオンモール旭川駅前を会場に二日間にわたって繰り広げられた「ダンスフェスティバル」を参観してきました。

ご当地アイドル、kids ダンススクール、そして地元高校生の皆さんによるパフォーマンスと、世代を超えた見応えのあるダンスに多くの観衆が活気づけられました。

本校のダンス部は歴史も浅く、本格的な催しに参加するようになったのもここ数年のことですが、緊張した様子もなく見事なパフォーマンスを披露してくれました。日々の熱心な練習の成果だと思えます。

ダンスは体育の单元でも取り扱われるなど、多くの方が経験するようになりました。創作力、集中力、リズム感、体感、連携、共調、主体性など、ダンスから学ぶことは沢山あります。

生徒の笑顔とエネルギー、そして素晴らしいパフォーマンスに元気をもらいました。



One for all, All for one. No.121

R7. 1.17 「共通テスト前集会」

18（土）・19（日）両日にわたって「大学入試共通テスト」が実施されます。全国各地の受験生が各会場で一斉に受験するのが共通テストです。本校からも沢山の生徒が、この共通テストに臨みます。

生徒は皆、授業、講習、模擬試験等を通して多くの知識や思考力、判断力を身に付けてきました。当日はベストのパフォーマンスを発揮してくれることを心から願っています。

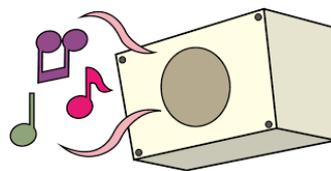


私からは、①緊張をほぐすためのいくつかの方策、②「自分ならできる」というポジティブな気持ちで問題に向かうこと、③最後の一问まで決して諦めず集中することの三点についてお話をさせていただきました。

それをやり遂げれば、必ず心地よい疲労感が押し寄せてくるはず。それが「達成感」であり、やれることをやり切った証となります。「頑張れ〜！」

R7. 1.21 「全校集会」

冬休み明けの全校集会は、インフルエンザ流行の兆候から放送での実施としました。この冬休み中も、講習や部活動に励む在校生の姿がいたるところで見受けられ、個々に新たな目標を持って新年を迎えたものと感じています。



生徒には、学校内外で沢山の知識を身に付け、自ら思考し、適切な判断のもと正しい言動ができる人間形成を目指した1年にして欲しい旨を伝えました。

3年生はまもなく上級学校の学生や社会人となり、1・2年生はそれぞれ一つ上の学年となります。

各々が自覚を持ち責任ある言動がとれる人間になってくれるものと確信しています。

R7. 1.21 「御正忌報恩講」

全校集会に引き続き、「御正忌報恩講」の法要を同じく放送で執り行いました。

この行事は、親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦勞を通じて阿弥陀如来のご本願による「お救い」を改めて心に深く味わわせていただく法要です。



法話では、宗教部 藤島 裕明教諭が「親鸞聖人は自分の心の拠り所を求め、比叡山を出て、法然聖人の元で「お念仏の教え」に帰依されました」と、心の安堵を求めのお気持ちは親鸞聖人も私たちと同じであることをお話されました。

その上で「求める居場所は一人一人異なっても、他者の心を尊重し、自分を正直に表現することで、自ずと心の安らぎは訪れるものです」と諭されました。

校訓「慈光照曜」に思いを巡らし新たな一年が始まりました。